

「野田小学校の山田楽伝承活動の取組」

1. 学校名	出水市立野田小学校
2. 学年・人数	6年生 35人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年7月13日～10月28日（計14回） 野田農村環境改善センター・野田運動場 (2) 発表の日時・場所 令和6年9月29日 野田小学校秋季大運動会 野田運動場 令和6年11月3日 野田郷運動会 野田運動場
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 県指定文化財 山田楽（やまだがく） (2) 由来 今から約400年前に、当時の地頭であった山田昌巖が、一揆を鎮圧しに向かう武士の士気を鼓舞するために始めたことがきっかけとなった。 (3) 構成等 左手に鉦を下げた7人と入れ鉦1人が前列に、小太鼓を胸に抱えた15人の笹払いと「め八」1人を中列に、毛笠（馬毛）を被り、襷十文字に宮太鼓を横にした10人が後列に並ぶ。これを門懸（もんかけ）といい、この陣形で出陣、討ち入り、討戻し、凱旋の順に踊る。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	1989（平成元）年から野田町青木地区に残る「山田楽保存会」の全面的な協力のもと、本校6年生が練習に取り組み、野田小学校秋季大運動会と野田郷運動会での踊りを披露している。毎年、6年生全員が踊りに参加することで、小学校期における伝承体制が確立された。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	  小学校運動会での披露 野田郷運動会での披露
7. 感想・意見 （参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・ 夏休みから練習に取り組むことによって、達成感を味わうことができた。 ・ 踊りを通して、伝統芸能の大切さを感じることができた。 【保存会】 ・ 400年以上も前から踊りの形態を一切変えずに伝承していることに誇りをもつとともに、子供たちがしっかりと受け継いでくれることを嬉しく思う。 【教職員】 ・ 保存会の方々の丁寧な指導によって日を追うごとに上達していく子供たちの姿を見ることができた。踊りに込められた思いも学ぶことができた。